

令和6年度 まちづくりのありまし 〜市政の方針と予算の概要〜

田中市長は第一回市議会定例会に本年度のまちづくりの根幹となる市政の方針を述べました。これを受け同定例会では、予算案などについて活発な議論が繰り広げられました。今月は、同定例会で審議された本年度の予算と市政・教育行政の執行方針の概要をお知らせします。



市政の方針

深川市長 田中昌幸

近年、地震や世界的な異常気象による自然災害のほか、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ問題などに伴う物価高騰の動向などは、私たちの日常に関わるさまざまな分野に悪影響を及ぼし、未だ先が見通せない状況です。また、本市の財政状況についても、依然として厳しい状況が続いているため、引き続き健全財政を堅持しつつ、課題解決のため、重点的な施策の実施による市政運営を進めてまいります。

以下、本年度の主要課題や重点施策などについて申し上げます。

1 こどもまんなか社会の実現に向けた少子化対策の強化

こどもまんなか社会の実現に向けて、子どもや若者の健やかな成長を地域社会全体で後押しするため「こどもまんなか応援サポーター」になることを宣言するとともに、子育て応援プロジェクトの柱となる「子ども子育て条例」を新たに制定するほか、少子化対策について定めた「子ども・子育て支援事業計画」を改訂します。

また、母子保健事業の強化として、1カ月児健診の費用助成を新たに実施し、出産サポート「安心ハイヤ事業」の助成額を全額に拡充するほか、子育て世帯の経済的負担の軽減と妊娠・出産から子育てまで切れ目のないサポートを行うために取り組んできた「妊娠・出産応援交付金事業」などの各種事業も引き続き取り組みます。

学校給食費については、無償化の期間を半年間に拡大するほか、令和6年度からの給食費増額改定への対応として、保護者が負担する増額分を市が全て負担します。また、保育園および幼稚園などの副食費についても、半年間の助成を行い、支援を拡充します。

医療費については、これまで中学生以下の医療費自己負担分を全額助成してきましたが、本年8月診療分からは、対象を高校生などまでに拡大します。

また、健康に配慮した学びの環境づくりとして進めていた、小中学校のエアコン整備を令和6年度中に完了させます。

未婚化・晩婚化対策については、若い世代の婚姻に伴う経済的負担の軽減を図る支援を継続します。雇用対策では、商工関係団体と連携して、新規学卒者などへ企業情報の提供に取り組む、市内で働く若者を確保するほか「育児休業取得支援事業」などを通じ、家庭と仕事の両立を支援します。

2 DXの推進とゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み

人口減少社会にあっても、誰もが将来にわたって安心して住み続けられる持続可能なまちづくりが求められており、近年では、SDGs（エスディージーズ）やDX（デジタルト

ランスフォーメーション）の推進、気候変動問題への対応など、新たな視点もまちづくりを進めていく上で重要となっています。

そこで、人口減少対策として位置付けている「第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略などを踏まえた改訂を行うほか、自治体運営の効率化を目的に、令和7年度までの移行を目標とした「自治体の情報システムの標準化・共通化」に取り組みます。

教育DXでは、令和7年度の本稼働に向けて、教職員の校務における効率化や子どもたちと接する時間の確保などに資する統合型校務支援システムを導入します。

また、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティふかがわ」を実現するため、各公共施設における照明灯をLEDに交換し、電気料金と二酸化炭素排出量の削減を図るほか、会議資料のペーパーレス化などに努めます。

森林の整備については、森林環境譲与税を活用し、気象などによる森林被害の早期復旧や下刈りなどの保育施策に対する支援を「森林整備促進事業」に新たに加えるほか、道産木材の利用促進や市民理解を醸成するため、木育の促進にも努めます。

3 活力ある地域づくりと活き活きと輝く人づくり

本市の基幹産業である農業については、農業所得の十分な確保、多様な担い手と労働力の確保、環境と調和した農業の推進、地産地消および都市と農村の交流推進、豊かさや活力のある農村の構築を施策の基本方向として、新規就農者などの育成・確保や、スマート農業を通じた省力化技術の導入に向けた取り組みなどを展開するほか、農業を取り巻く環境や本市農業の主要課題などを踏まえつつ「第9次深川市農業振興計画」の策定に取り組みます。

観光振興については、世界的に観光需要が回復している状況にあることから、国内旅行、インバウンド需要の取り込み拡大に努め、成長分野である観光を推進し、地域の活性化を図ります。

移住・定住の促進については、ワークショップ相談窓口を軸に、オンライン移住セミナーの開催やSNSを活用した情報発信などを展開します。また、地域おこし協力隊の活動を通じて地域の魅力を発信するほか、本市を応援していただける関係人口の創出を図るため、ふるさと会との交流・連携や企業版ふるさと納税などの推進に努めます。

男女共同参画社会の実現に向けては、仕事と子育てを両立できる

環境の整備などを進めるほか、道や他自治体と連携し、パートナーシップ宣誓制度の普及促進に努めます。生涯学習機能とバスターミナル機能を中心とした「複合施設」については、市民の意見や議会での議論などを踏まえて策定した基本計画に基づき、現在、施設的设计を進めています。市民に親しまれ利用しやすい施設となるよう、令和8年度の完成を目指して、整備に向けた取り組みを着実に進めます。

4 将来にわたる安心・安全のまちづくり

災害に強い地域社会や地域経済の実現に向け「深川市地域防災計画」および「深川市強靱化計画」の改訂に取り組みます。

昨年開庁した市役所新庁舎については、引き続き外構などの各種工事を進め、行政運営や災害対応の拠点施設として、今後も市民生活を支えることができるよう、質の高い行政サービスの提供に努めます。

市道の除排雪については、円滑な冬期交通網の確保と除排雪体制維持のため、除排雪車両を格納する新車両センターの完成に向けた整備を進めるほか、除排雪に従事するオペレーター不足への対策として「除排雪オペレーター養成事業」を推進するとともに、道路の除排雪経費の助成や除雪に苦慮されている市民

の相談などに対応する「除雪サービスセンター」の運営を支援します。

新型コロナウイルス感染症については、感染対策に係る情報発信に努めるほか、市立病院においては、速やかな検査・治療体制を維持しつつ、院内感染の防止と安心・安全な医療体制の提供に最大限の努力をします。

北空知圏における一部事務組合の取

り組みについて、消防・救急では、救助活動用ポートおよび消防車両の整備などを進めるほか、北空知葬斎場の令和7年の供用開始に向け、遺族や会葬者のプライバシーに配慮した中で、心安らかに最後のお別れができる施設となるよう整備を進めます。また、ごみの共同処理については、運搬車およびコンテナなどを更新します。

令和6年度各会計予算

項目	令和6年度 予算額	令和5年度 当初予算額	増減額	増減率	
一般会計	181億1,000万円	175億7,000万円	5億4,000万円	3.1%	
特別会計	介護保険	23億7,200万円	23億3,200万円	4,000万円	1.7%
	国民健康保険	29億7,300万円	29億9,300万円	△2,000万円	△0.7%
	後期高齢者医療	4億7,100万円	4億2,200万円	4,900万円	11.6%
	計	58億1,600万円	57億4,700万円	6,900万円	1.2%
企業会計	水道	9億560万円	8億5,500万円	5,060万円	5.9%
	下水道	21億8,450万円	18億7,440万円	3億1,010万円	16.5%
	病院	59億7,397万円	58億5,183万円	1億2,214万円	2.1%
	計	90億6,407万円	85億8,123万円	4億8,284万円	5.6%
合計	329億9,007万円	318億9,823万円	10億9,184万円	3.4%	

福祉・健康・医療に関する分野

こどもまんなか社会の実現 に向けた取り組み① 635万円

【子育て応援プロジェクト 321万円】

「子ども子育て条例」の制定のほか、子ども子育て支援に関する調査研究や効果的なプロモーションなどを実施します。

【保育所等副食費無償化(6カ月間) 314万円】

保育所および認定こども園の3歳から5歳児の副食費を6カ月間(4月～9月)全額補助します。

こどもまんなか社会の実現 に向けた取り組み③ 5,493万円

【高校生などの医療費無償化 (子ども医療費支給事業) 5,493万円】

中学3年生(満15歳に達する日以後の3月31日まで)までの医療費を全額助成します。また8月以降は、適用年齢を高校生等(満18歳に達する日以後の3月31日まで)に拡大します。

北空知葬斎場建設事業の推進および可燃 ごみコンテナ運搬車等の更新 4億9,159万円

【北空知葬斎場建設事業の推進 4億5,875万円】

令和7年の供用開始に向け、安心・安全でプライバシーに配慮し、遺族や会葬者が心やすらかに最後のお別れができる施設を整備します。

【可燃ごみコンテナ運搬車等の更新 3,284万円】

北空知衛生センターでは、老朽化した可燃ごみ運搬車およびコンテナ等を整備します。

こどもまんなか社会の実現 に向けた取り組み② 3,302万円

【妊娠・出産応援交付金事業 (コウノトリ応援プラン) 2,300万円】

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを目的に、第1子・第2子に33万6千円、第3子以降に53万6千円を交付します。

【1カ月児健診費用助成】

1カ月児の健康診査の費用を助成します。
(乳児健康診査事業104万円内)

【先進不妊治療費等助成事業】

保険適用された治療と併用して実施される保険適用外の「先進医療」にかかる費用と交通費を助成します。
(特定不妊治療費助成事業206万円内)

【出産サポート「安心ハイヤー」事業】

移送にかかるハイヤー料金を全額助成します。
(母子保健事業43万円内)

【低所得妊婦の初回妊婦健診費用助成事業】

低所得の妊婦を対象に初回産科受診料を助成するとともに必要な支援につなげます。
(妊産婦健康診査事業649万円内)

保健衛生(環境・清掃・水道・病院)

- ◎市立病院において良質で安定した医療サービスを提供するための運営経費 59億7,397万円
- ◎休日・夜間救急医療体制の維持・確保 4,737万円
- ◎がん検診の実施 1,672万円

社会福祉・障がい者福祉・子育て

- ◎外国人介護人材を受け入れた法人等に対し、経費の一部を支援 200万円
- ◎介護に従事する人材の確保および地域社会の介護力の向上を図る 80万円
- ◎関係事業所と連携し、障がい福祉サービスを提供 5億8,115万円
- ◎住宅の取得や賃貸、引っ越し経費を助成し、若年層の結婚新生活を支援 180万円
- ◎保育料について、国の基準からの50%軽減や入所第2子の無料化などを実施

経済・産業に関する分野

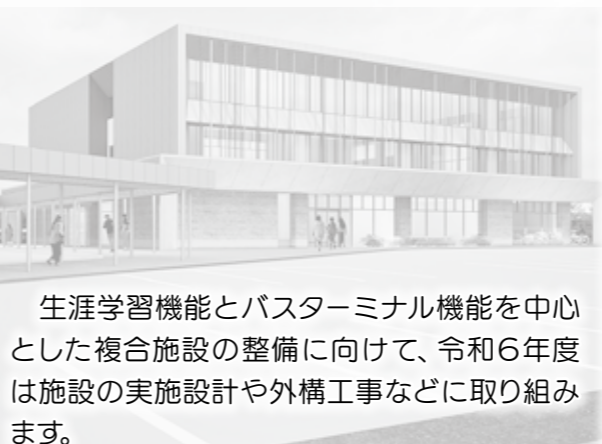
商工・観光

- ◎ふるさと納税の推進とともに、コメや加工品などの返礼品を有効活用した地場産品PR 2億7,560万円
- ◎企業や商店の経営安定と経営体質強化のため、支援事業を推進 2億2,661万円
- ◎企業誘致活動の推進と既存企業の支援 5,643万円
- ◎中心商店街のにぎわい創出に向けた取り組みなどの支援 480万円
- ◎道の駅「ライスランドふかがわ」の満足度向上のためキャンペーンの開催経費など 3,024万円
- ◎観光知名度の向上と観光客の誘客に向け周辺自治体と連携した広域観光の推進 1,477万円



快適な生活基盤の構築に関する分野

複合施設整備事業 3億2,087万円



生涯学習機能とバスターミナル機能を中心とした複合施設の整備に向けて、令和6年度は施設の実施設設計や外構工事などに取り組みます。

土木・住宅

- ◎都市基盤である道路網や橋の整備 4億2,130万円
- ◎地域活性化やまちなか居住推進のため、住宅の新築やリフォームなどの費用に助成を実施 3,517万円
- ◎市営住宅(あけぼの団地)の耐久性向上を図るため、屋上防水改修と外壁塗装を実施 7,119万円

農林業

- ◎多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する支援として、日本型直接支払事業を有効に活用 6億8,189万円
- ◎本市の基幹産業である農業の担い手を確保・育成し、優良農地の円滑な継承を推進するため設立した農業法人「株式会社深川未来ファーム」の運営支援 2,750万円
- ◎農作物被害の防止を目的とした有害鳥獣の捕獲やその個体を適性に処理する施設の運営 2,640万円
- ◎間伐等の森林整備や乳児に積み木を配布するウッドデビュー推進事業などを実施 1,814万円
- ◎地域おこし協力隊の活動を通じて、地域の活力の向上に資する取り組みを推進 1億1,366万円

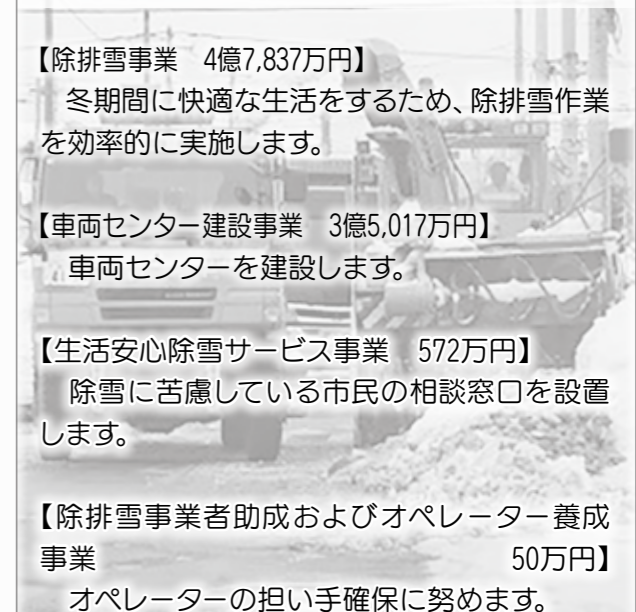
労働

- ◎若年者等の就業を促進 180万円
- ◎働きながら子どもを産み育てられる労働環境づくりをより一層推進 150万円

市役所運営等

- ◎令和5年度から行っている新庁舎の庇建築工事や外構工事などに取り組む 5億8,323万円
- ◎移住支援員を配置し、相談対応や体験事業などをワンストップで実施するほか、オンライン移住セミナーの開催やSNSを活用した情報発信を行うなど、移住・定住をより一層推進 1,657万円

除雪体制の充実 8億3,476万円



- 【除排雪事業 4億7,837万円】
冬期間に快適な生活をするため、除排雪作業を効率的に実施します。
- 【車両センター建設事業 3億5,017万円】
車両センターを建設します。
- 【生活安心除雪サービス事業 572万円】
除雪に苦慮している市民の相談窓口を設置します。
- 【除排雪事業者助成およびオペレーター養成事業 50万円】
オペレーターの担い手確保に努めます。

教育行政方針

国の「教育振興基本計画」では、総合的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」および「日本社会に根差したウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良い状態であること)の向上」を掲げ、これらの相互循環的な実現に向けた取り組みが進められるよう教育政策を講じていくことが必要とされています。こうした認識を踏まえつつ、本市の学校教育や生涯学習・社会教育の充実などに向けて、「第六次深川市総合計画をはじめ、「深川市学校教育振興計画」や「第10次深川市社会教育中期計画」などの個別計画に基づき、令和6年度における教育行政の推進に係る主要施策について申し上げます。

【主要施策の概要(抜粋)】

《学校教育の充実》

- 給食費の無償期間を半年間に拡大するとともに、北空知圏学校給食組合が令和6年度から改定する給食費の増額相当分を市が負担します。
- 小中学校の空調設備について、未整備となっている3校への整備を進め、計画よりも1年前倒しとなる、令和6年度中に市内全校への整備を完了させます。
- 何らかの要因により学校に行けない児童生徒の支援を行う適応指導教室について、移転・拡張するとともに名称を教育支援センターに改め、より一層、受け入れ体制の充実を図ります。
- 令和7年度の本稼働を目指して、統合型校務支援システムを導入し、教職員の校務の効率化と情報共有を図ることで、子どもたちと接する時間を確保するとともに時間外在校等時間の削減に取り組みます。

・地域の未来を担う人材を育成する、市内公立高等学校2校の魅力ある取り組みとそのPRなどに対する支援を継続します。

《生涯学習活動の推進と社会教育の充実》

- 拓殖大学北海道短期大学の協力を得て実施している市民公開講座などを継続して実施します。
- 生涯学習機能を有する複合施設については、関係機関・団体などから意見を伺う機会を設けながら、具体的な整備内容などについて検討を進めます。
- 子どもの自主性やリーダーシップを養うため、リーダー養成事業などを実施し、地域社会で実践できる力を身に付けられる場の提供に取り組みます。

《文化・スポーツの振興》

- 芸術文化活動への意欲を高めるアウトリーチ事業を引き続き全ての小・中学校で実施します。
- 関係機関・団体などと連携し、誰もが気軽にスポーツや健康づくりに親しめるよう取り組んでいきます。
- 市民自らが優れた芸術文化事業や各種スポーツ大会を招致・運営する際の支援を継続するほか、文化・スポーツの分野で全国大会などに出場する市民に対する支援を拡充します。

人材育成と教育・文化・スポーツに関する分野

給食費等の無償化の拡充・教育環境の充実 1億576万円

【小中学校給食費支援 3,213万円】

学校給食費の無償期間を4月から9月までの半年間に拡大します。また、令和6年度から改定する給食費の増額相当分を市が負担します。

【教育・保育施設副食費等支援 120万円】

幼稚園の副食費補助を4月から9月までの半年間に拡大します。

【学校施設の空調設備整備事業 7,243万円】

エアコン未整備校(3校)にエアコンを整備し(令和4年度からの4年計画を1年前倒し)、市内小中学校全校への整備を完了させます。

私立学校振興等

- ◎私学振興として、拓殖大学北海道短期大学への入学者確保や同大学およびクラーク記念国際高等学校の地域との交流促進などの取り組みを支援 4,559万円

学校・生涯学習・文化スポーツ

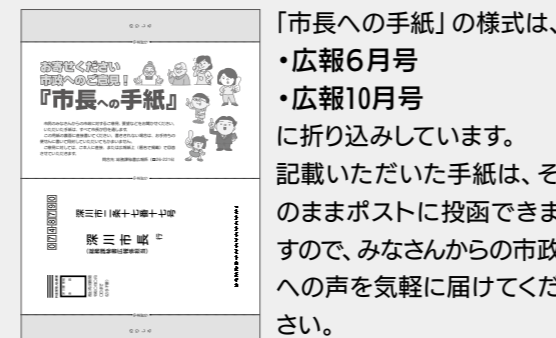
- ◎地元公立高等学校の入学者確保と教育環境の向上を図るため、魅力ある学校づくりを支援 767万円
- ◎教職員の校務の効率化と情報共有を図るため、統合型校務支援システムを導入 82万円
- ◎児童生徒の学力向上を図るため、放課後教室や長期休業中の学習支援を実施 443万円
- ◎学習環境を整備するため、北新小学校・音江小学校の机と椅子を更新 384万円
- ◎文化芸術およびスポーツのレベル向上と振興を図るため、全国・全道大会に参加する市民に対して助成します。 209万円
- ◎合宿と交流人口の増加を図るため、企業版ふるさと納税などを活用し、3年次計画で特色あるスポーツイベントや施設整備などを実施(3年目) 700万円
- ◎地域ボランティアを活用し、地域全体で学校を支援する事業を実施 21万円
- ◎生涯学習社会の実現のため、各公民館において幅広い年齢層に対応した事業の充実を推進 119万円

令和5年度 市長への手紙集計

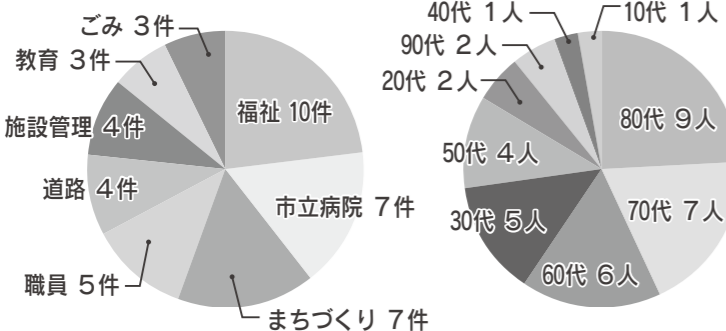
令和5年度中に、みなさんから市に寄せられた「市長への手紙」は64通で、内容にすると74件となりました。「市長への手紙」は、市長が全てに目を通し、担当課を通じて対応や改善を図りました。中には、匿名の方や連絡先や内容が不明なものもあり、回答できない場合がありますが、みなさんからの意見は、今後の市政に生かしていきます。

意見・情報・アイデアなど

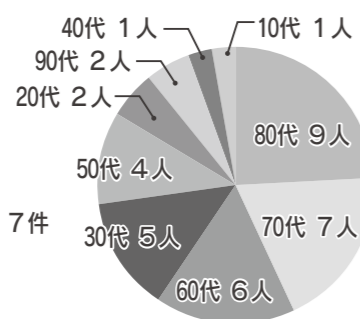
- | | |
|--|--|
| 【手紙やハガキ】
〒074-8650
深川市2条17番17号
深川市長あて
【電話】26-2216
【ファクシミリ】22-8134 | 【電子メール】
kouhou@city.fukagawa.lg.jp
【みんなの声ポスト】
市役所1階ロビー
【直接窓口】
秘書課秘書広報係へ |
|--|--|



内容/上位8項目



年代/不明を除く



その他行政サービスに関する分野

ゼロカーボンシティふかがわの実現に向けた脱炭素の取り組み 2,574万円



2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティふかがわ」を実現するために、深川市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】に基づき、公共施設のLED化や会議資料などのペーパーレス化に努めます。

さらに多くの事業を紹介! わかりやすい予算書はこちら



市の予算を分かりやすく説明した令和6年度予算説明書「深川市の今年のしごと」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので企画財政課財政係に連絡してください。市ホームページにも掲載しています(「深川市の今年のしごと」で検索してください)。

【QRコードはこちら】



～問合せ～

- ▶市政の方針…まち未来推進課企画係(☎26-2246)
- ▶教育行政方針…学務課管理係(☎26-2332)
- ▶予算について…税務財政課財政係(☎26-2622)